

そらんぽへ行こう

固 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

特別展「木工作家 つちやあゆみ 木とメロディーの世界」を開催!

「そらんぽ四日市」では、7月13日(土)から4階特別展示室で特別展「木工作家 つちやあゆみ 木とメロディーの世界」を開催します。つちやあゆみさんによるさまざまな木工作品32点を紹介します。

つちやさんの作品のコンセプトは「見て、触れて、聴いて」。本展では、木でできた球が階段を1段降りるたびに音が鳴り、ロンドン橋のメロディーを奏でる「音の階段」や、来館者がハンドルを回して音を響かせる木製



つちやあゆみさんの作品「歯車のオルゴール」

の大きな「歯車のオルゴール」などが展示され、子どもだけでなく大人もワクワクしながら木の感触を全身で感じることができます。

1階のミュージアムショップでは、木の歯車でできたネックレスやマグネットなどの関連グッズも販売中ですので、こちらも併せてお立ち寄りください。

本展は、9月1日(日)までの開催です。つちやさんの木工作品にふれて、自然や木のことについて考えてみませんか。

文化財さんぽ

固 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873

市内唯一の前方後円墳と 出土した副葬品

羽津小学校の東にある志氏神社の境内に、こんもりと樹木が茂っています。ここには市指定史跡の「志氏神社古墳」があります。市内で確認されている唯一の前方後円墳で、古墳時代前期(4世紀末)に築造されたと考えられています。すでに前方部は削られており、現在残っているのは後円部と周濠の一部です。古墳から出土した遺物は、車輪石、内行花文鏡、勾玉、管玉、小玉があり、葬られた人物と一緒に納められた副葬品であると考えられ



志氏神社古墳と車輪石などの副葬品 (右上)

ます。これらも市の指定文化財となっています。

車輪石は、オオツタノハという貝で作られた腕輪を石で模した宝器です。また勾玉、管玉、小玉は被葬者が生前に身につけていたアクセサリーと考えられます。

古墳に立ち入ることはできませんが、周囲を散策しつつ、いにしえの人々へ思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。